

1 はじめに

北宇和支部では、研究目標を「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践―教育の情報化の推進を通して―」とし、主に各町での活動を行っている。今年度は、ICTを活用した授業改善についてと、校務支援ソフトの活用に関する研修会などを積極的に行った。

2 情報教育委員会の活動について

(1) 第1回情報教育主任委員研修会

- ① 研究推進目標の立案
- ② 研究内容・推進計画の審議

(2) 第2回情報教育主任委員研修会（ICT活用実技研修会）

- ① ICT機器の接続の仕方、「SKYMENU」の使用方法等
- ② デジタル教科書の使用法(授業での活用方法)

(3) 第3回情報教育主任委員研修会（ICT活用実技研修会）

- ① 「NetCommons3」を利用した学校Webページの構築・運用

(4) 第4回情報教育主任委員研修会

- ① 今年度のまとめと反省
- ② 来年への引継ぎ
- ③ 情報交換

3 各校の情報教育への取組

ICTを活用した授業研究会やICT機器の活用研修会を実施した。多くの先生方や地域の方々に授業を見ていただいたり、ICT機器の授業での活用方法について研修を深めたりして、これからのICTを活用した授業づくりの方向性を確認することができた。

また、校務支援ソフトウェアの活用に関する研修も各校において積極的に行われ、校務の情報化に向けて、意識を向上させることができた。

4 本年度の反省と今後の課題

昨年度から新しいICT機器が各校に導入され、すでに整備の終わっている松野町と共に、北宇和郡の小・中学校での活用への意識が高まってきている。同時に、新しい機器を有効に活用するための研究も各校で推進しているところである。

今後もデジタルとアナログのバランスの取れた活用について研修会を実施するとともに、各校の情報交換を密にして、北宇和郡全体で教育の情報化を推進していくことが必要である。